

芦屋市環境処理センター運営協議会(10/23)からの意見等

項目	意見等	対応・考え方
神戸市との 広域連携	神戸市は、本市のごみ焼却処理について期限を設けようとしているのか。将来にわたり責任を持って処理してくれるのか。	神戸市と協議を進める中で、期限を設けることは考えておりません。ただ、不測の事態に関する事については、書面等への記載を考えています。
施設計画 (中継方式、 別棟・合棟)	中継方式では、臭気対策が課題である。芦屋浜地域への臭気が心配である。	臭気対策として脱臭設備の整備を考えています。現在、ごみピット内に貯留したごみは、クレーンで破袋・攪拌した後、焼却炉に投入していますが、中継方式の場合は、破袋・攪拌することなく、直接、運搬車両等に積込むため臭気は軽減できるものと考えています。
その他	施設建築物について、景観を考慮した整備を考えているのか。	中継施設を既存焼却施設の建築物を活用し、資源化施設は新たな建築物を整備する場合、両建築物を対象に景観面も考慮した検討が必要と考えています。